

経営学基礎		講義	教授 丸山 高行
科目カテゴリー	国際ビジネス学科の必修科目 教職科目	科目ナンバリング	21200104 25310102

1. 授業のねらい・概要

この科目は、経営学を初めて学ぶ人を対象に、会社経営および企業活動についての基礎知識が、論理的かつ体系的に身につくことを目標とする。まず前半は、会社法をベースに、自ら会社（株式会社）を設立・登記する手順や、会社経営を軌道に乗せるノウハウのエッセンスを学ぶ。後半は、財務諸表分析を中心に、会社を成長させるための基礎知識を身に付けるとともに、経営組織論や経営戦略論、マーケティング、会計・簿記、コーポレートファイナンス論など、2年次以降の専門科目への興味が深まることを目指す。

2. 授業の進め方

毎回の授業は、レジュメや配布資料等に基づき講義形式で行うが、一方通行の授業ではなく随所でケース・スタディを提示し、相互ディスカッションを含め、共に考える時間をとるようにする。また、毎回、その日の授業で学習した内容に関する課題として3問程度練習問題を提示し、授業内容の理解を進める。教室での受講に加えて、この課題の期限内提出をもって授業への出席とカウントする。

3. 授業計画

1. イントロダクション	9. マーケティング
2. 会社形態と株式会社の本質	10. 会計（財務会計と管理会計）
3. 会社設立の流れ	11. 財務理論（財務諸表分析①）
4. 定款の作り方	12. 財務理論（財務諸表分析②）
5. 株式の発行と引受け	13. 株式の公開・上場
6. 株主の権利と株式会社の機関設計	14. コーポレートファイナンス
7. 経営組織	15. 全体のまとめ（コーポレートガバナンスと企業の社会的責任）
8. 経営戦略	

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

レジュメは、1回の授業につき、パワーポイントのスライド12枚が提供される（経営学基礎全体で180枚）。スライド12枚は、基本的に毎回の授業テーマに沿った図表と、図表に関する解説文から構成される。さらに、レジュメには、図表の出典および関連する資料や参考文献へのリンクが貼り付けられている。受講者は、レジュメの内容を理解し、関連資料や参考文献にもアクセスして必要知識を整理することによって、毎回、1時間程度の復習を行うことが望ましい。なお、前年度のレジュメを授業スタート時にGoogle Classroomで公開するので、適宜、予習に役立ててほしい。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

毎回の課題については、基本的に翌週の授業で解説を加える。期末試験は、課題（4問程度）にレポートの提出を加える形で行う。期末試験については、終了後、解説動画を配信するので、解答が不十分だったところは直ちに復習しておくこと。

6. 授業における学修の到達目標

経営学に関する基礎知識が、論理的かつ体系的に身につくことを目標とする。また、株式会社の設立・運営ノウハウの提供に加え、現実の企業活動や決算発表、株式・債券市場の動きなど、ホットな話題にも適宜触れるので、経営学の諸分野について、さらに勉強しようという意欲が高まることを期待する。

7. 成績評価の方法・基準

授業への取組み姿勢（20%）および定期試験の結果（80%）によって、評価する。

8. テキスト・参考文献

毎回の授業で提示するレジュメが、テキストとなる。また、レジュメの中で、適宜参考文献を紹介する。

9. 受講上の留意事項

経済学基礎で学んだ知識も活用して授業を進めて行くので、しっかり復習しておくこと。また、株式や債券、金利、為替など、金融面の知識を増やすためには、社会科学の基礎A・Bの授業を並行して受講することが望ましい。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当する。本授業は、金融機関における実務経験を活かして指導する。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。